

七月二十日

師團文ノ

意見具申

一 早朝師團長ハ一般ノ狀況及前夜ノ研究ニ基キ

軍司令官ニ對シ左ノ要旨ノ意見具申ヲナス

一 張鼓峯ノ敵ハ急襲ニテ殲滅スルヲ要ス

二 攻撃ヲ敢行スルモ事件ヲ他正面ニ波及セシムルノ

虞ナシ時機ヲ遷延スルニ從ヒ成功ニ多クノ犠牲

ヲ要シ且事件ヲ擴大スヘシ

三 實力行使並師團爾後ノ行動ノ自由ヲ確保ス

ル為張鼓峯西側高地ハ一部隊ヲ以テ占領

シ置クヲ要ス

二十前十時三十分作命第二十號ニヨリ砲工兵ヲ前方ニ

推進シ攻撃準備ヲ容易ナラシメ且古城守備隊

主力ヲシテ張鼓峯西側高地ヲ占領セシム

各隊ハ右命令ニ基キ本夜行動ヲ開始セントシ

夫々準備所了シモ午後七時三十分左ノ電報

張鼓峯西側高地
占領準備

軍令部

電

6

電

2077

張鼓峯西方

(軍參謀長ヨリ師團參謀長宛)ヲ受領ス

張鼓峯西方ハ百米高地ヲ占領ニ関スル師團ノ意

見ニハ同意スルモ該高地ノ占領ハ勤モスレハ

騒動惹起ノ誘緒トナリ全般ニ波及スルノ虞

大ナルモノマルヲ以テ之カ實行ハ軍司令官カ張鼓

峯ヲ攻撃スル決心ヲ確定スルマテ見合セラレ度

茲ニ於テ師團長ハ部隊ヲ以テスル張鼓峯西方高地

ノ占領ヲ断念シ各幕僚等ヲ總動員シテ之カ中止

ノ命令ヲ傳達セシム

當時各隊ハ夫々夜間行動ヲ準備中ナルモ未ダ

江ヲ越エタルモノナキヲ以テ何等齟齬ヲ來スコトナク

其ノ行動ヲ中止スルヲ得タリ

三此ノ夜佐藤大佐慶興師團司令部ニ出頭シ再ヒ張

鼓峯西方高地ヲ占領ノ必要ヲ意見具申ス

佐藤大佐再
度意見具
申